

第46回甲賀市水道事業審議会 概要報告

1. 開催日時 令和5年2月3日（金） 午後2時00分から午後4時15分まで
2. 開催場所 甲賀市役所5階 第1委員会室
3. 議 題 水道事業の概要及び財政計画について
令和5年度甲賀市水道事業会計予算（案）について
甲賀市水道事業経営戦略の見直しについて
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 出席者
委員 西谷委員、渡邊委員、岩田委員、岡川委員（web）、吉村委員、
池本委員、梅本委員、鵜飼委員、田中委員、成田委員 以上10名

岩永市長 （途中退席）

事務局 上下水道部 中島部長、西田次長
上水道課 中村課長、服部課長補佐、岩田係長
上下水道総務課 谷口課長、伴課長補佐、武村係長、望月係長
6. 傍聴者数 0人
7. 会議資料 別紙のとおり
8. 議事の概要

○出席委員数の報告

出席委員は10人中10人で、委員の3分の2以上の出席であることから、甲賀市水道事業審議会条例第5条第2項の規定により、会議が成立していることを事務局から報告

○委嘱状の交付

○会長、副会長選出

甲賀市水道事業審議会条例第4条第1項の規定に従い、審議委員の互選により、審議会の会長、副会長を選出

○会議内容の公開又は非公開について

会長 本日の会議内容の公開、非公開についてであります。当審議会は市の附属機関にあたりますので、公開が原則であります。

本日の会議資料には個人情報等の非公開にしなければならない内容は含まれていませんので、すべて公開とします。なお、議事録につきましては、個人名ではなく委員として公開します。

(全員異議なし)

○議題

事務局 ــــــــ 水道事業の概要及び財政計画について
(質疑) 資料に基づき説明

会長 甲賀市水道事業について補足説明

事務局 ــــــــ 令和5年度水道事業会計予算(案)について 資料1
(質疑)

委員 令和4年度の繰越事業が多いように思うが令和3年度に比べて件数が多いのか。それはコロナ禍による半導体不足などが影響しているのか。また、黒字になっていることとの関連性は。

事務局 繰越の件数につきましては、令和3年度からの繰越分、令和4年度からの繰越分がかなり増えています。
施設更新に関する電気・機械関係の工事について、新型コロナの感染拡大、ウクライナ情勢による資材の供給不足が要因です。

事務局 繰越による黒字との関連の部分で、工事の影響とは関係なく料金収入は入ってくることから、今のところは黒字をキープしています。
ただ、それは単年度の話で、数年間で見ると工事の繰越によりどのような影響があるかは不透明なところもあります。

会長 事業繰越が後々までずっと響いていくのかを気にされていると思う。資料の工事の表で「新」と書かれているのが、予定していなかった工事が来年度は増えるということです。
これについては、10か年計画を立てるときに予見できなかったのかどうか、もしかしたら疑問に思われるかもしれません。
今年度はウクライナ情勢、昨年度は塗料メーカーの不正など、外部の要因で工事が遅れている。

事務局 本市の場合、アパート等が増えているため給水栓数は増えていますが、人口減少の中で水量は年々減少しています。
令和元年度については新型コロナの影響ではなく、人口減少の影響によるものです。

会長 ここ10年ぐらいの傾向としては、人口減少と節水機器の普及による

ものですね。

委員 県水と自己水ですが、県水が65%も占めていると説明があったが、もっと自己水で賄えると思うが。

事務局 信楽、土山は自己水のみです。豊富とまではいきませんが水源は確保できています。水口、甲賀、甲南については、徐々に水源が確保できなくなってきたり、県水に頼らざるを得ない状況となっています。

委員 上流から流れていって琵琶湖に入った水を引き上げてきているという感じですか。

事務局 甲賀市と湖南市との市境の朝国で野洲川から取水して甲賀市内に供給していただいています。

会長 一点補足させていただきますと、井戸水はきれいで美味しいと認識されている方も多いと思いますが、実は井戸水というのはどこから来ているのか分からない水で、毒性のあるものがいきなり入り込んだり、また、突然枯れたりということもあります。井戸水のイメージはいろいろ違っていたりすることもあります。そういったことも含めて、質問していただきながら、徐々に理解を深めていただければと思います。

委員 当初、甲賀市に県の施設で水源を確保してほしいと要望等もされて、県水の施設を作ったという経緯があります。

また、野洲川の水を甲南町へ送水しようとする、甲南町は野洲川に面していないので、野洲川と杣川が合流した下流の朝国で取水をして送り戻すこととなったため、県水は高い訳です。

県水は経営的にも非常に大きなウエイトを占めていますので、どのように節減できるのかが非常に重要だと思います。

会長 もし皆さんから疑問が出るようでしたら、経緯等を説明していただく機会があれば良いと思います。

土山と信楽は自己水、水口は100%県水になっています。

県水は大規模な施設を作っている市町に送水しますので、コストが高くなります。市町と県それぞれの思いがある中で水道事業をやっていることをご理解いただければと思います。

甲賀市は比較的有収率が低くて、2021年度は土山エリアで25か所の工事を、2022年度は信楽で漏水調査や修繕工事をされています。

エリアが広く、漏水箇所が分かりづらいということもあり、追いかけながら有収率の向上を図っているという感じですか。

会長 来年度についても、基本的にはこれまでと大きく変わらないような予算立てをされているというご説明であったと思います。

委員 石綿セメント管は残っているのか。

事務局 50mm以上の配水管約926kmの内、現在石綿管は約3.5km残っています。令和4年度は約680m更新をしており、優先的に順次更新しています。

会長 一般市民の印象では危ない、不安なのかと思います。石綿管で流れてくる水も安全だという理解でよいか。

事務局 世間一般では吹付材・断熱材・防火剤として使われている飛散性の高い石綿をイメージされると思います。使用している石綿管は一般の建築物に使われる石綿とは違い、飛散性がなく、水にも溶けないものです。石綿管の何がだめなのかといいますと、石綿自体が非常にもろく漏水が起りやすいので優先的に更新しています。

事務局 ―― 甲賀市水道事業経営戦略の見直しについて 資料2
(質疑)

委員 収益的支出の「その他」の中に受水費が含まれていると思うが、受水費が占める割合はどの程度か。

事務局 約7億円～7億2千万円の幅で、給水収益が減っていくのと同じような割合で徐々に減っていく形で見込んでいます。約11億円強のうち、約7億円が受水費という見込みをしております。

委員 数字が大きかったので「その他」に含めてしまうのはどうかと思う。受水費について、以前は契約水量というのが決められていたが今はそういったことはないのか。

事務局 総務省のフォーマットを活用している関係で受水費を「その他」に含めています。契約水量については、今も年間定められた水量というのがありますが、以前のような高い水量の設定ではなく、余計な経費はかからない形で運営できています。

会長 有収率のグラフがありますが、上はかなり令和14年度に向かって大きく下がっています、下はあまり下がっていないような感じですが、これはどういうふうに理解すればよろしいでしょうか。

事務局 上と下のグラフの整合については、どちらも間違いではないですが、左側に振っているメモリ数値の関係で、メモリの幅が見にくくなっていますので、表し方を検討して、どちらも見てわかりやすいように修正したいと考えております。

会長 「③収支計画のうち投資以外の経費について」の説明ですが、「物価上昇率1.0%を加味しています」「ベースアップ0.2%を見込んでいます」と書いてあるが、おそらく今時点で3%、4%を超えているが今後どうされるのか。

事務局 物価上昇率については、この計画期間中でおしなべて1%程度と考えています。賃金アップによる人件費等への影響も出てくるかとも思っておりますし、昨年末ぐらいに日銀が発表している経済予測等では、中長期的には1%台になるというような予測も出ておりますので、情勢を注視し、定期的に見直しながら計画を作っていくと考えています。

委員 投資財政計画、収支計画で、利益は将来の設備投資のために使っていくという話だったと思うが、今から10年後を見ると当期純利益がかなり下がっていく。利益は少なくなっていくのに工事はそのままとなっているが、どう考えているのか。10年先も見据えたところはどうか。

事務局 10年先の収入を見込むのは難しいものがありますが、今後の投資計画では、国の補助金も一つの手法です。それが叶わないようであれば、料金見直しも考えなくてはなりません。一般会計、市の財源の活用も考えられますが、状況を見た中でその時期にあった運用を考えていきます。

○その他

事務局 ——— 滋賀県水道広域化推進プランの策定について
(質疑) 資料に基づき説明

会長 広域化プランというのは、滋賀県が中心となり定めたもので、できるところから協力していこうということで始まっています。各市町の事情をきっちり出して、議論していただくこととなります。

始まったばかりでプランだけのものではありませんが、技術職員の育成や発注システムなどは一緒にした方が楽になると思います。

全てを統合するというよりは、できるところからやっていければ良いという感じで議論されています。

会長 他に意見・質問もないようですので終了します。